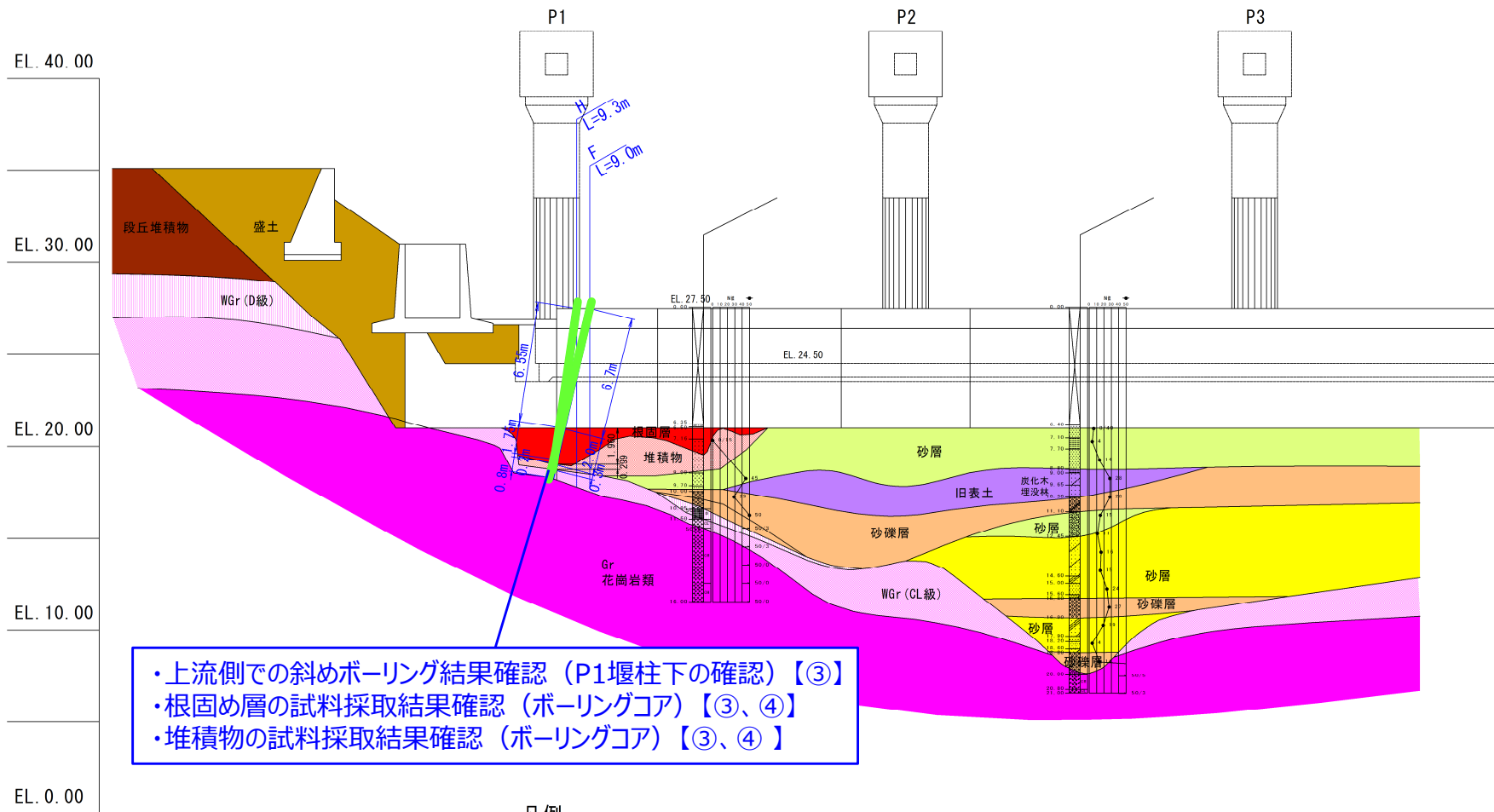
















# 3-3 明かり調査横断位置図



・上流側での斜めボーリング結果確認 (P1堰柱下の確認) 【③】  
 ・根固め層の試料採取結果確認 (ボーリングコア) 【③、④】  
 ・堆積物の試料採取結果確認 (ボーリングコア) 【③、④】

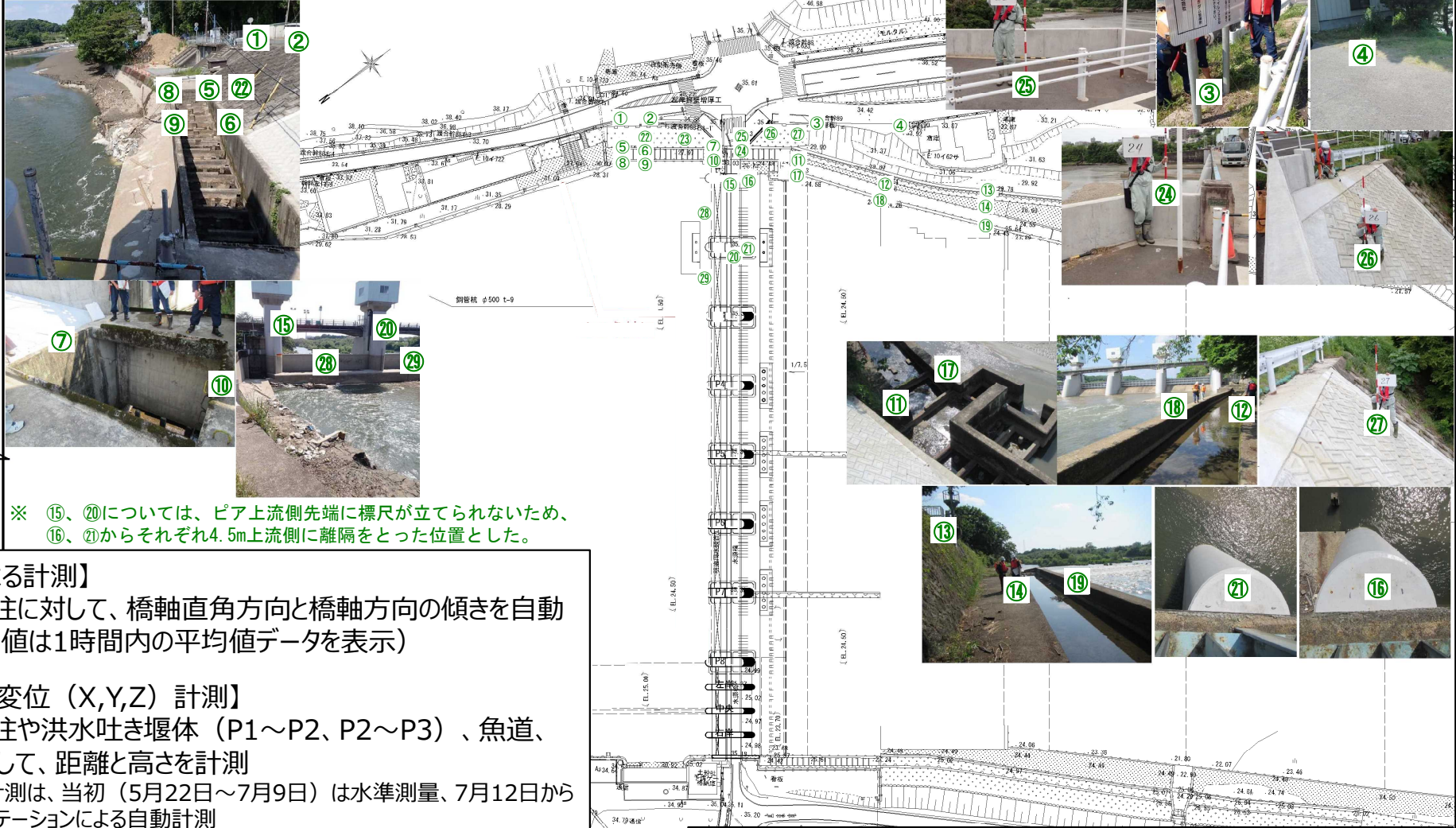
凡例

- |   |                 |   |                      |   |               |
|---|-----------------|---|----------------------|---|---------------|
|  | 盛土              |  | 新期河床堆積物              |  | 段丘堆積物         |
|  | 空洞/空洞内堆積物 (N<3) |  | 砂層 (緩い、概ねN<10)       |  | 基盤岩(花崗岩類、片麻岩) |
|   |                 |  | 砂礫層 (比較的締め良い、概ねN>10) |  | D級            |
|   |                 |  | 旧期河床堆積物              |  | CL級           |
|   |                 |  | 旧表土 (炭質物を多く含む※、埋没林)  |  | CM級           |
|   |                 |  | 火山灰層                 |   |               |
|   |                 |  | 砂層 (比較的締め良い、概ねN>10)  |   |               |
|   |                 |  | 砂礫層 (比較的締め良い、概ねN>10) |   |               |

※「旧表土」の堆積時期は、含まれる炭質物の炭素14 (14C) 年代から、1,940年前と特定された。その下位の砂層・砂礫層を「旧期河床堆積物」とし、その上位の砂層・砂礫層を「新期河床堆積物」とする。

# 4-1 施設の変状確認結果 (P1堰柱、洪水吐き堰体) 【①】

定点調査箇所図



※ ⑮、⑳については、ピア上流側先端に標尺が立てられないため、⑯、㉑からそれぞれ4.5m上流側に離隔をとった位置とした。

**【傾斜計による計測】**

P1・P2堰柱に対して、橋軸直角方向と橋軸方向の傾きを自動計測 (測定値は1時間内の平均値データを表示)

**【測量による変位 (X,Y,Z) 計測】**

P1・P2堰柱や洪水吐き堰体 (P1~P2、P2~P3)、魚道、護岸等に対して、距離と高さを計測

※測量による計測は、当初 (5月22日~7月9日) は水準測量、7月12日からはトータルステーションによる自動計測

**【傾斜計データの整理】**

ゲート開閉に支障が生じる傾きを閾値として整理

※閾値は堰柱とゲートのクリアランスが 0となる傾斜として、0.09°とした。

○ レベル測量箇所 計29箇所

⑧⑨⑯㉑ : 5/22~ ①~㉑ : 6/5~ ㉘㉙ : 6/8~